3通りの充電・出力ができる安心感。

家庭用電源はもちろん、車のシガレット電源や、ソーラーパネルからも充電できます。

充電は家庭用電源・車のシガレット電源・ソーラーパネル（発売予定）の3通りの充電方式を採用しています。

出力はAC100V・DC12V・USB5Vの3通りの出力に対応しています。

なお、最大出力は150W以下でご使用ください。（PBD2028は200W）

※上記時間は目安です。

ポータブルだから、アウトドアライフに安心感。

アウトドアで電源が確保できるので、扇風機の使用や夜間の照明確保に便利です。

例えば、災害時やアウトドアなどでは、車で作った電気を持ち出せるということです。

新しいアウトドアライフをこのポータブルバッテリーでスタートしてみませんか。

繰り返しの充放電に強い安心感。

長時間の連続使用と繰り返し充電に強いディープサイクルバッテリーを採用しています。

ディープサイクルバッテリーは、繰り返し充放電が可能な鉛バッテリーです。

通常の自動車用バッテリーは、完全に放電してしまうと著しく性能が低下してしまいます。

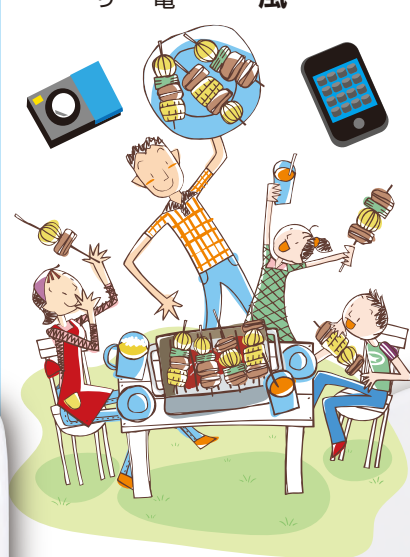
この問題を解消し、深い放電を何回も繰り返すことができる専用バッテリーがディープサイクルバッテリーです。

ディープサイクルバッテリー
繰り返し充放電に強いバッテリー搭載

300サイクル以上の(1)繰り返し充放電

(1) 完全放電から満充電をした状態を1サイクルとします。

※バッテリー交換や28Ahのバッテリーも承っています。（有料）

お問い合わせは…
株式会社ドウシシャ福井AVサービス
☎0778-24-2779

充電時間（目安）

	内蔵バッテリー20Ah	内蔵バッテリー28Ah
家庭用電源（AC100V）	約6時間	約8時間
シガレット電源（DC12V）	約6時間	約8時間
ソーラーパネル（発売予定）	約10~15時間	約10~15時間

家電製品の連続使用時間（目安）

※満充電後、25℃の周囲温度で使用したときの目安です。

家電製品名	消費電力	連続使用時間 上段：内蔵バッテリー20Ah 下段：内蔵バッテリー28Ah
ノートパソコン	10W	10~20時間 12~25時間
LED卓上スタンド	15W	10~15時間 12~20時間
19型液晶テレビ	35W	3~4時間 4~5.5時間
小型冷蔵庫	50W	1~2時間 1.5~3時間
32型液晶テレビ	70W	1~2時間 1.5~3時間
電気ひざ掛け	55W	1~2時間 1.5~3時間
敷き毛布	40W	1.5~3時間 2~4.5時間
電気あんか	60W	1~2時間 1.5~3時間
リビング扇風機	35W	3~4時間 4~5.5時間

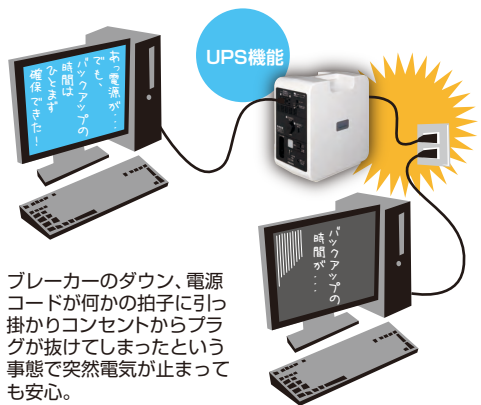
※20Ah内蔵バッテリーは28Ahのバッテリーへも交換も承ります。（有料）

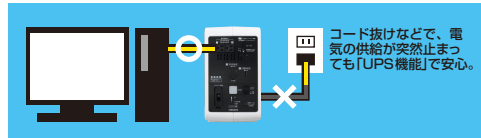
困った時に使う製品だから安心を第一に考えました。

停電や電源トラブルから守られる安心感。

家庭ではもちろん、仕事場や教育現場など様々な場所で、停電や電源トラブルなどの発生時自動的に内蔵バッテリーに切り替わり、作業を継続できます。

無停電機能（UPS:Uninterruptible Power Supply）とは、パソコンからネットワーク機器まで、停電や電源トラブル（障害）から守る電源システムです。

普段からこの機能を使っていれば、いざという時に安心です。

UPS機能

ブレーカーのダウン、電源コードが何かの拍子に引っ掛かりコンセントからプラグが抜けてしまったという事態で突然電気が止まっても安心。

コード抜けなどで、電気の供給が突然止まっても「UPS機能」で安心。

UPS機能
停電してもパソコンの作業が継続可能

家庭用電源コンセントの電気と同様の安心感。

扇風機や精密機器を安心して接続できる正弦波インバーターを採用しています。

実は同じAC100V出力といっても、出力される電気は全く同じではありません。正弦波と矩形波という二種類の電流波形を持った電気に分類されます。

矩形波インバーターは、一定の絶対値をもつ電圧を作り出すため、出力波形が矩形になり、使用可能な電化製品（扇風機など）に制限がでてしまいます。

一方、正弦波インバーターは、家庭用電源コンセントから供給されるAC100Vとほぼ同じ波形を生むので、精密な周波数が必要となる一部のテレビやマイコン制御の家電製品等、安心してご使用いただくことができます。

せいげんは
正弦波
家庭用コンセントからの電気と同様の品質

せいげんは 正弦波

くけいは 矩形波

普段使っている家庭用コンセントから供給される電気と同様なので、定格出力さえ越えなければ、複数の電気製品も使うことができます。

ご注意 本製品に接続できる機器は、一般家庭用電化製品が対象です。医療機器及び医療機器に準ずる機器、並びに生命に関わる機器には絶対にご使用にならないでください。また社会的事業など重要な機器へのご使用はお控えください。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」と「安全上の注意」をよくお読みください。水、湿気、ほこり、油などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。